

General Applications

FOR ACL

「当社はACLに対し、また当社が継続的に達成している成果について非常に満足しています。ACLのテクノロジーを利用して自動化された検査を開発したことにより、保険請求審査プロセスの効果的な管理方法をより深く理解できるようになりました。当社は今後も引き続きACLを活用して、監査プロセスの合理化と改善を図ります。」

ケニス・ウォン

内部監査部門スーパーバイザ

John Hancock Life Insurance

(Malaysia) Berhad

ACLのソフトウェアソリューションによって、組織はビジネスプロセスや財務報告の基盤をなすトランザクションの正確性と完全性について自信を持てるようになります。ACLのテクノロジーが可能にするコントロールのテスト例は以下のとおりです。

買掛金

- 領収書または納品書を注文書の金額と照合する
- 同一の製品を提供する仕入先との取引履歴を作成する
- 同一の注文書番号が記載された請求書を抽出する
- 取引先に対する正確なりべートを明確にするために、年間の請求書の総合計を算定する
- 銀行、期間、製品、取引先ごとの現金必要額を算定する
- 取引先の製品別単価の変動を時系列で分析する
- 小切手帳と取引先からの請求書に対する支払額とを照合する
- 抽出した取引先の買掛金残高を注文書と照合する
- 月間の費用と請求額および支払額を比較する
- 注文書のない多額の請求書を金額、取引先ごとに集計する

売掛金

- 顧客別の回収サイトを比較することにより在庫維持費を算定する
- 入金額と売掛金額とを照合し、不一致分を抽出する
- 高額の返品伝票、高額の取引および高額の請求書を抽出する
- 所要の様式で、滞留債権リストを作成する
- 顧客別、取引種別、金額別に要約する
- 最も古い活動に関する取引を識別し、売上のフォローアップを行う
- 連番管理されている請求書の欠番を抽出する
- 決済条件から外れた債権を抽出する
- 製品、営業担当者、地域ごとの平均売上高を求める
- すべての売掛金に関するリストを作成し、年齢を調べる
- 納品書と請求書との間の不一致を明確にする
- 任意に管理されている重複した請求書、債権、受領書を抽出する
- 顧客、営業担当者、地域ごとに顧客の支払サイトを要約する

現金支出

- 監査のために取引先ごとの現金支払額を集計する
- リポート交渉をサポートするため、取引先との現金支払に関する取引履歴を作成する
- 所定の金額または一定の金額を超える小切手の発行依頼を識別する
- 注文書、取引先ごとのすべての支払いに対する監査証跡を提供する
- 勘定科目、銀行、グループ、取引先ごとに現金支出額を集計する

取引先の管理

- 取引先マスタファイルの重複している取引先番号を識別する
- 以下の取引先を明らかにする
 - 一 休眠会社
 - 一 2つ以上の取引先番号を持つ
 - 一 私書箱を持つ
 - 一 有名な取引先と社名がよく似ている、またはスベルが類似している (IBM Limited, Fed Express など)
- 取引先マスタと次の項目を照合する
 - 一 従業員の氏名、住所および電話番号
 - 一 会社所在地および電話番号
- 取引先ごとの成約件数を比較する (入札件数と比較した成約件数)
- 同一の取引先との契約をチェックする (契約1件あたりの入札件数)
- 次のような確定していない契約内容をチェックする
 - 一 契約額の修正、拡大、増加
 - 一 修正箇所の合計数
 - 一 当初の納品日と最終的な納品日
 - 一 当初の契約額と最終的な契約額
- 分割契約 (同一の取引先、同一期日) をチェックする
- 入札締切日以降の応札をチェックする
- 落札の持ち回りが行われていないかチェックする
 - 一 取引先ごとに合計成約件数を比較する
- 持ち回りが行われているが、契約金額が最大の案件は1社の取引先が獲得していないかチェックする (取引先ごとの成約案件の平均金額を比較する)
- 最後の成約案件をチェックする
- 請求金額支払先の請負業者を比較する (下位の入札者は辞退し、上位入札者の下請けをする)

資産管理

- 関係会社間の資産の売却損益を分析する
- 会計上および税務上の減価償却費を比較し、差異を示す
- 資産の耐用年数を資産種類別に比較し、償却費を時系列で分析する
- 法定を超えた耐用年数や減価償却額となっている資産を抽出する
- 再調達価格を用いて償却費や累計額を再計算する
- 資産額を簿価または原価で金額順に整理する
- 実査を行う資産のサンプルをランダムまたは任意に抽出する
- 減価償却後の原価を示し、原価よりも大きな資産を明確にする

注文書の管理

- 未納品がある古い注文書を除外する
- 重複している注文書や注文書のない入荷を明確にする
- 監査証跡のため、注文書の種類 (包括、譲渡、直送) を分類する
- 未払金と在庫商品とを比較することにより正しく受領していることを確認する
- 作業期限、プロジェクト期日または発注日が出荷の遅れに与える影響を分析する



販売の分析

- 当期と前期を比較することにより販売傾向を分析する
- 需要分析または需要動向に基づいて、当期の製品売上高と帳簿に計上された売上高を比較する
- 当期売上高と売掛金残高に対する比率を分析する
- 監査のために、顧客、製品、地域ごとのすべての売上データを抽出する
- 営業担当者、製品または顧客ごとの売上高および収益性の報告書を作成する
- 製品、顧客、営業担当者ごとに最も大きな売上高を明らかにする
- 任意の製品系列を抽出し、当期および期首から現時点までの分析を行う
- 流通の状況を分析するために、倉庫ごとに出荷を要約する

在庫および在庫管理

- 標準原価と実際原価の差異を分析する
- LIFOによる在庫管理とFIFOによる在庫管理の財務的な影響を評価する
- 商品、倉庫、取引先ごとの製品の再注文数を検証する
- 実査の結果と総勘定元帳の価額を比較する
- 数量または価格がゼロに達した製品を抽出する
- 年間の販売量が手持在庫を下回る製品を抽出する
- 種類別に回転率を分析することによって陳腐化している在庫を見極める
- 分類またはグループごとの期首および期末時点の残高を明確にする
- 高額の取引を金額、グループごとに区別し、分析する
- 取得原価が小売価格を上回る在庫品を抽出する
- 在庫品を取引先元帳と照合し、不一致を報告する
- 抽出した実査対象と算定した額とを照合する
- 製品を収益性順(昇順、降順)に報告する
- あらゆる抽出基準を用いて、高額な在庫品に関する残高リストを作成する
- 標準価格からの乖離を金額順に明らかにする
- 照合テストを実施するために、継続して存在する在庫品から抽出する
- 回転率を改善するため、使用量と注文状況を統計的に分析する
- 在庫品ごとの回転率を要約し、いずれかの順序で階層化する
- 製品をグループ、場所、種類ごとに集計する

総勘定元帳

- 自己資本と株主持分を分析、選別、および確認する
- 資産回転率、負債資本比率などの財務比率(および変化)を算出する
- 昇順または降順で主要な勘定ごとに要約し、比較する
- 様々な期間の加重平均資本コストを計算する
- 期間における勘定の趨勢を簡易的に計算し並べ変える
- 課税グループごとに試算表を用意し、様々な納税引当金を算定する
- 貸借対照表分析、損益計算書分析、キャッシュ・フロー分析などを行う
- あらゆる期間から、検証や監査を目的として様々な仕訳を抽出する
- 速やかな勘定の調整と修正処理により、決算を迅速化する
- 連結精算表における連結システムのデータを検証する
- 勘定科目とコードの一貫した使用を検証する

給与および給与支払簿

- 特別給与、残業、賞与などのコストを比較し、集計する
- タイムカードをベースに算定した給与額と支払額を賃金台帳と比較し、不一致分を抽出する
- 総額が所定の額を超える給与支払伝票をすべて抽出する
- 控除額、支払総額、時給、給与額などの変動を明らかにする
- 新規従業員の承認された文書とその入力結果とを比較する
- 退職者や存在しない従業員への支払を明らかにする
- 監査で検討するための抽出基準に従って給与支払伝票を要約する
- 歩合給の計算を検証する

ACL Services Ltd.について

ACLの開発元であるACL Services Ltd.は、監査・統制業務、財務管理の分野におけるビジネスアシュアランス分析を提供する世界的なリーディングカンパニーです。1987年の創業以来、コンピュータを利用した監査テクノロジーにおけるマーケットリーダーとして、監査業務の専門家から常に高い評価を受けてきました。全世界に広がる顧客には、フォーチュン100企業中の94社、グローバル500企業中の2/3、4大会計コンサルティング、さらに各国政府、州政府、地方自治体などが含まれています。現在、130か国を超える国と地域、170,000以上のライセンスユーザーに利用されています。

※ACLおよびACLのロゴはACL Services Ltd.の商標または登録商標です。
※その他記載された会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
※本カタログは2008年7月現在のもので、記載内容は予告なく変更される場合があります。



Smart Software, Smarter Deployment
株式会社エージーテック

本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-21-1 昭栄神田橋ビル3F
PHONE:03-3293-5300 (代表) FAX:03-3293-5270

カスタマセンター PHONE:03-3293-5283

名古屋オフィス 〒460-0003 名古屋市中区錦3-5-30 三見錦ビル5F

URL <http://www.agtech.co.jp/>

※弊社に関するご質問及び製品に関するご購入のご質問: info@agtech.co.jp
※流通業者の方やOEMIに関するお問い合わせ: sales@agtech.co.jp

開発元



Data you can trust. Results you can see.

000-H0-000